

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年4月28日

東

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所  
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮崎 正太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	227,985	22.2	17,492	54.8	19,906	39.5	16,073	33.5
2022年3月期	186,591	59.8	11,300	—	14,274	—	12,042	—

(注) 包括利益 2023年3月期 22,521百万円( 21.4%) 2022年3月期 18,551百万円( 57.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	671.86	—	8.6	5.9	7.7
2022年3月期	499.23	—	7.1	4.7	6.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	348,461	197,787	56.6	8,261.10
2022年3月期	325,579	178,778	54.6	7,433.03

(参考) 自己資本 2023年3月期 197,288百万円 2022年3月期 177,891百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,948	△8,793	△340	69,467
2022年3月期	14,943	△9,517	△8,172	75,712

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00	1,438	12.0	0.9
2023年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00	3,586	22.3	1.9
2024年3月期(予想)	—	70.00	—	80.00	150.00		35.5	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	101,300	△1.7	5,000	△7.5	5,400	△22.3	4,100	△23.2	171.68
通期	208,000	△8.8	11,700	△33.1	12,700	△36.2	10,100	△37.2	422.92

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	24,893,841株	2022年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2023年3月期	1,012,276株	2022年3月期	961,278株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	23,923,307株	2022年3月期	24,122,648株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	110,960	30.8	3,243	—	7,418	64.4	6,718	34.1
2022年3月期	84,833	77.4	225	—	4,512	—	5,010	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	280.83		—					
2022年3月期	207.69		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円 銭	円 銭
2023年3月期	195,286	98,493	98,493	50.4	4,124.25		
2022年3月期	186,873	93,884	93,884	50.2	3,922.86		

(参考) 自己資本 2023年3月期 98,493百万円 2022年3月期 93,884百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
受注及び販売の状況	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における、連結売上高は2,279億85百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益174億92百万円（前年同期比54.8%増）、経常利益199億6百万円（前年同期比39.5%増）、純利益160億73百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

当年度の連結受注は2,495億96百万円（前年同期比9.0%増）で前年度を上回り、過去最高となりました。前年度に比べ主として為替レートが円安で進行したことで、受注の円換算額が大幅に増加したことによるものです。

当年度の報告セグメント別の受注状況（現地通貨ベース）は以下のとおりです。（当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成されています。詳細については12ページを参照ください）

#### セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は前年度を上回りました。

半導体製造装置と自動車の部品加工向けを中心に受注が増加しました。第4四半期に半導体製造装置向けの受注が減少しましたが、一般機械や医療向けが増加したことで受注水準を維持しました。

#### セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアは前年度を上回りました。

中国では、上期に新エネルギー車など自動車向けや、コネクタなど電気電子部品の金型向け、様々な産業の油空圧部品向けで受注が集中しました。下期は景気減速の懸念から受注が減少に転じました。通期では前年度を上回る結果になりました。

インドは前年度並みとなりました。二輪やトラックなど自動車の部品加工向けのほか、航空機向けの受注がありました。

#### セグメントⅢ（MAKINO INC.）

アメリカは前年度を下回りました。第2四半期以降、景気減速の懸念により、自動車と半導体製造装置向けを中心にお客様が設備投資に慎重になりました。医療関連の部品加工向けは堅調を維持しました。航空機向けはまとまった受注のあった前年度に対し、下回りました。

#### セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

ヨーロッパは前年度を上回りました。航空機向けが増加しました。半導体製造装置や自動車向けの受注は前年度並みを維持しました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ228億81百万円増加し、3,484億61百万円となりました。主な増減としては、棚卸資産166億6百万円の増加、現金及び現金同等物47億87百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産22億1百万円の増加などが挙げられます。負債につきましては、仕入債務45億30百万円の減少、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）44億85百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ38億72百万円増加し、1,506億74百万円となりました。

また純資産につきましては、利益剰余金132億円の増加、為替換算調整勘定45億11百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ190億9百万円増加し、1,977億87百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益194億50百万円、減価償却費79億3百万円、棚卸資産の増加121億7百万円、仕入債務の減少80億75百万円、法人税等の支払額48億59百万円などにより、29億48百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出64億23百万円及び定期預金の増額14億9百万円などにより、87億93百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入90億円、長期借入金の返済による支出46億50百万円、配当金の支払額29億61百万円などにより、3億40百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ62億45百万円減少し、694億67百万円となりました。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	59.4	58.3	57.6	54.6	56.6
時価ベースの自己資本比率	41.4	26.9	37.4	28.5	33.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.3	5.2	3.0	3.2	18.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	50.0	25.7	61.8	55.6	9.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債(リース債務を除く)を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の受注は、当期を下回る計画です。一部の地域を除いて受注が減少するほか、為替レートを円高で想定することで、円換算額が減少する見通しです。上期は当期の水準を下回る受注が続くと見ています。下期はEV（電気自動車）など自動車関連や半導体製造装置向けを中心に、受注が増加に転じる見通しです。

次期の報告セグメント別の受注見通し（現地通貨ベース）は以下のとおりです。

##### セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は、若干当期を下回る計画です。

年末にかけて、半導体製造装置向けの受注が増える見通しです。自動車向けは受注水準の維持に努めます。

##### セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

次期のアジアは、当期を下回る計画です。

中国は、自動車向け、電気電子部品の金型向けで受注が集中した当期を下回る計画です。引き続きお客様が設備投資に慎重です。新エネルギー車など自動車向けを皮切りに、上期中に受注が増加に転じることを期待しています。

インドは当期を上回る計画です。自動車の部品加工向けで大口の案件を含み、引き合いが増加しています。自動車の金型や、航空機向けなど、成長が見込まれる分野に当社の特長ある製品、サービスを展開することで拡販に努めます。

アセアンは、当期並みとなる計画です。サプライチェーンの強化のための設備投資が出てくることで、受注水準を維持する見通しです。半導体製造装置向けの受注は下期以降の増加を期待しています。

## セグメントⅢ ( MAKINO INC. )

次期のアメリカは、当期を下回る計画です。引き続き景気減速の懸念がお客様の設備投資に影響すると見えています。当期の主要な向け先であった、自動車および半導体製造装置向けの受注は、下期に増加に転じると見えています。

航空機の増産に伴い、航空機向け受注は増加する見通しです。

インプラントや人工骨などの医療関連も堅調を維持する見通しです。

## セグメントⅣ ( MAKINO Europe GmbH )

次期のヨーロッパは、当期を下回る計画です。半導体製造装置向けが減少すると見えています。

様々な産業の油空圧部品向けや、航空機向けの引き合いが増加しています。このほかエネルギー関連、自動車向けの受注を獲得することで、減少が小幅に留まるよう取り組みます。

当社グループの2024年3月期の連結業績予想は、次のとおりです。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期 連結累計期間	101,300	△1.7	5,000	△7.5	5,400	△22.3	4,100	△23.2
通期	208,000	△8.8	11,700	△33.1	12,700	△36.2	10,100	△37.2

上期の売上は、期初の受注残が高水準であることで前年同期並みとなる計画です。

通期の売上は前年同期を下回る計画です。上期の受注が前年同期を大きく下回ることによって下期の売上が減少することと、円高による円換算額の減少によります。

売上に伴い利益も減少する計画です。コストダウンを進めることで、減少幅を抑えられるよう取り組みます。

2023年4月に、当社の新しい省エネ技術「eSTABILIZER」を発表しました。工場内の温度変化によって生じる機械の変形を予測し、自動制御することで安定的な高精度加工を実現するとともに、空調にかかる工場の消費電力量削減に寄与します。これを既存の当社製品の省エネ技術とあわせて展開することで、環境に対する取り組みを強化します。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,100	68,312
受取手形、売掛金及び契約資産	48,432	50,634
有価証券	3,542	4,234
商品及び製品	22,335	28,276
仕掛品	20,342	21,140
原材料及び貯蔵品	35,831	45,699
その他	9,999	12,961
貸倒引当金	△1,326	△1,544
流動資産合計	212,257	229,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,657	86,828
減価償却累計額	△46,960	△49,263
建物及び構築物（純額）	32,697	37,565
機械装置及び運搬具	28,205	31,090
減価償却累計額	△19,257	△21,520
機械装置及び運搬具（純額）	8,947	9,570
工具、器具及び備品	17,807	18,996
減価償却累計額	△13,069	△13,961
工具、器具及び備品（純額）	4,738	5,034
土地	18,940	19,080
リース資産	6,414	9,091
減価償却累計額	△2,124	△3,079
リース資産（純額）	4,289	6,012
建設仮勘定	5,701	1,950
有形固定資産合計	75,315	79,215
無形固定資産		
その他	3,611	2,952
無形固定資産合計	3,611	2,952
投資その他の資産		
投資有価証券	25,827	27,100
長期貸付金	704	620
繰延税金資産	3,378	4,867
退職給付に係る資産	729	970
その他	3,939	3,163
貸倒引当金	△183	△141
投資その他の資産合計	34,395	36,580
固定資産合計	113,322	118,747
資産合計	325,579	348,461



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,313	20,068
電子記録債務	18,304	19,019
1年内返済予定の長期借入金	4,650	6,707
リース債務	591	932
未払法人税等	2,544	2,080
その他	38,492	41,890
流動負債合計	89,895	90,698
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	23,800	26,228
リース債務	2,510	3,210
繰延税金負債	6,127	6,973
役員退職慰労引当金	129	122
退職給付に係る負債	2,304	1,357
その他	2,033	2,083
固定負債合計	56,905	59,975
負債合計	146,801	150,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,074	37,056
利益剰余金	101,513	114,714
自己株式	△4,014	△4,233
株主資本合計	155,716	168,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,174	15,160
為替換算調整勘定	8,369	12,880
退職給付に係る調整累計額	△369	565
その他の包括利益累計額合計	22,174	28,606
非支配株主持分	886	499
純資産合計	178,778	197,787
負債純資産合計	325,579	348,461



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	186,591	227,985
売上原価	135,973	161,596
売上総利益	50,617	66,388
販売費及び一般管理費	39,317	48,895
営業利益	11,300	17,492
営業外収益		
受取利息	303	595
受取配当金	461	542
受取賃貸料	234	216
助成金収入	605	661
為替差益	1,051	-
その他	591	1,114
営業外収益合計	3,247	3,130
営業外費用		
支払利息	174	220
社債利息	96	96
為替差損	-	335
その他	2	63
営業外費用合計	273	716
経常利益	14,274	19,906
特別利益		
固定資産売却益	54	66
投資有価証券売却益	20	-
雇用調整助成金	6	-
特別利益合計	80	66
特別損失		
固定資産除却損	49	499
投資有価証券売却損	1	-
関係会社株式評価損	-	22
特別損失合計	50	522
税金等調整前当期純利益	14,304	19,450
法人税、住民税及び事業税	3,408	4,283
法人税等調整額	△1,229	△922
法人税等合計	2,179	3,360
当期純利益	12,124	16,089
非支配株主に帰属する当期純利益	81	16
親会社株主に帰属する当期純利益	12,042	16,073

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	12,124	16,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,924	985
為替換算調整勘定	7,751	4,511
退職給付に係る調整額	599	934
その他の包括利益合計	6,426	6,431
包括利益	18,551	22,521
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18,468	22,505
非支配株主に係る包括利益	82	16

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,074	90,231	△3,012	145,436
会計方針の変更による累積的影響額			△34		△34
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,142	37,074	90,196	△3,012	145,401
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
剰余金の配当			△725		△725
親会社株主に帰属する当期純利益			12,042		12,042
自己株式の取得				△1,001	△1,001
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	11,317	△1,001	10,315
当期末残高	21,142	37,074	101,513	△4,014	155,716

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	16,099	617	△968	15,748	807	161,992
会計方針の変更による累積的影響額						△34
会計方針の変更を反映した当期首残高	16,099	617	△968	15,748	807	161,957
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						-
剰余金の配当						△725
親会社株主に帰属する当期純利益						12,042
自己株式の取得						△1,001
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,924	7,751	599	6,426	79	6,505
当期変動額合計	△1,924	7,751	599	6,426	79	16,820
当期末残高	14,174	8,369	△369	22,174	886	178,778

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,074	101,513	△4,014	155,716
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,142	37,074	101,513	△4,014	155,716
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△18			△18
剰余金の配当			△2,872		△2,872
親会社株主に帰属する当期純利益			16,073		16,073
自己株式の取得				△265	△265
自己株式の処分		1		46	47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△17	13,200	△219	12,964
当期末残高	21,142	37,056	114,714	△4,233	168,681

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	14,174	8,369	△369	22,174	886	178,778
会計方針の変更による累積的影響額						-
会計方針の変更を反映した当期首残高	14,174	8,369	△369	22,174	886	178,778
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△18
剰余金の配当						△2,872
親会社株主に帰属する当期純利益						16,073
自己株式の取得						△265
自己株式の処分						47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	985	4,511	935	6,432	△387	6,044
当期変動額合計	985	4,511	935	6,432	△387	19,009
当期末残高	15,160	12,880	565	28,606	499	197,787

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	14,304	19,450
減価償却費	7,155	7,903
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	205	△94
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△132	71
受取利息及び受取配当金	△764	△1,138
支払利息	270	316
為替差損益 (△は益)	△115	△99
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△18	-
固定資産売却損益 (△は益)	△54	△66
固定資産除却損	49	499
関係会社株式評価損	-	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,228	1,278
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,406	△12,107
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,896	△8,075
その他	5,852	△974
小計	16,014	6,988
利息及び配当金の受取額	762	1,139
利息の支払額	△268	△319
法人税等の支払額	△1,565	△4,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,943	2,948
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	-	△1,409
有形固定資産の取得による支出	△8,467	△6,423
有形固定資産の売却による収入	301	237
投資有価証券の取得による支出	△1,311	△1,207
投資有価証券の売却による収入	50	-
その他	△91	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,517	△8,793
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,419	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△673	△1,040
長期借入れによる収入	-	9,000
長期借入金の返済による支出	△4,350	△4,650
自己株式の取得による支出	△1,001	△265
子会社の自己株式の取得による支出	-	△50
配当金の支払額	△725	△2,961
非支配株主への配当金の支払額	△3	△13
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,172	△340
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,813	△59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,067	△6,245
現金及び現金同等物の期首残高	74,644	75,712
現金及び現金同等物の期末残高	75,712	69,467

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「リース」(ASU第2016-2号)

一部の在外連結子会社においては、当連結会計年度より、ASU第2016-2号「リース」を適用しております。これによりリースの借手は、原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております

なお、当連結会計年度において、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

「時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用」

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当連結会計年度において、連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当連結会計年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であり、報告セグメントの利益又は損失は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	53,823	74,243	45,780	12,743	186,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,335	9,183	351	80	72,952
計	117,159	83,427	46,132	12,824	259,543
セグメント利益	3,334	5,562	1,933	123	10,954
セグメント資産	218,837	90,379	44,790	16,813	370,821

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	53,785	92,704	63,823	17,671	227,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87,472	13,436	437	28	101,374
計	141,258	106,141	64,261	17,699	329,360
セグメント利益	7,644	7,569	4,051	113	19,379
セグメント資産	226,744	97,949	58,455	22,366	405,516

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	259,543	329,360
セグメント間取引消去	△72,952	△101,374
連結財務諸表の売上高	186,591	227,985

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,954	19,379
セグメント間取引消去	345	△1,886
連結財務諸表の営業利益	11,300	17,492

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	370,821	405,516
セグメント間取引消去等	△45,241	△57,055
連結財務諸表の資産合計	325,579	348,461



## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	7,433.03円	1株当たり純資産額	8,261.10円
1株当たり当期純利益	499.23円	1株当たり当期純利益	671.86円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

## 算定上の基礎

## (1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	178,778	197,787
普通株式に係る純資産額(百万円)	177,891	197,288
差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	886	499
普通株式の発行済株式数(株)	24,893,841	24,893,841
普通株式の自己株式数(株)	961,278	1,012,276
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	23,932,563	23,881,565

## (2) 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12,042	16,073
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	12,042	16,073
普通株式の期中平均株式数(株)	24,122,648	23,923,307

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 受注及び販売の状況

## ①受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	55,180	22.1	△15.8
II	108,037	43.3	+30.8
III	64,884	26.0	+2.6
IV	21,494	8.6	+22.1
合計	249,596	100.0	+9.0

## ②受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度末 2023年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	28,646	26.1	+5.1
II	35,177	32.1	+77.3
III	31,318	28.5	+3.5
IV	14,543	13.3	+35.7
合計	109,686	100.0	+24.5

## ③販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	53,785	23.6	△0.1
II	92,704	40.7	+24.9
III	63,823	28.0	+39.4
IV	17,671	7.7	+38.7
合計	227,985	100.0	+22.2